



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

# ハイライトよねやま

vol.

288

2024年3月13日  
発行

## 1. 世話クラブへ届けた義援金

ネパール出身の米山学友、ギミルハリパラサドさん（2014-15／四街道RC）が2月27日に世話クラブの例会に出席しました。現在は千葉大学法政経学部で講師としてアジアの政治や市民社会について教えながら、同大学のグローバル関係融合研究センターで特任研究員として勤務中。将来は「日本とアジア諸国の懸け橋になれるような研究活動を進めていきたい」と語るハリさん。

今回例会に出席した目的は、義援金を届けるためでした。というのも、母国ネパールで2015年4月に起きた地震により大きな被害が出た際、四街道RCが義援金として160,000円の寄付を行い、当時米山奨学生だったハリさんを通じてネパールへ送金していました。この義援金は現



ハリさん(前列右から4人目)の奨学生時代、例会にて

地で仮設住宅の建設などに役立てられ、実際に仮設住宅に住んでいた人々はとても喜び、支援をしてくれた四街道RCの方々に感謝していたそうです。

その時から約9年後、今回の能登地震の発生を受け、当時

支援を受けたネパール

の方々から「何か力になりたい」との連絡がハリさんに入りました。そして、ネパールから義援金が届き、ハリさん自身の寄付金を加えた170,000円を例会でクラブ会長へ手渡ししました。

例会場は温かい拍手に包まれ、「受け取った義援金は被災地へ届ける」と、会長から力強い言葉を貰ったとのことでした。

## 2. マレーシア米山学友会 総会開催

3月1日、マレーシア米山学友会の総会がハイブリッド形式で開催され、会場に24人、オンラインで11人、計35人が参加しました。また、海外米山学友会からは、スリランカ米山学友会会長のダシルワプブ

ドゥさん（2007-09／室蘭北RC）、ネパール米山学友会理事のギリラムさん（1998-2000／室蘭RC）がオンラインで参加し、全体を通して和気あいあいとした雰囲気<sup>ソングアエン</sup>の総会となりました。会長の黄建榮さん（1998-2000／室蘭東RC）



は挨拶で「学友会の活動テーマは『教育』である」として、マレーシアと日本の高校生の交流プログラムを企画・運営していることや、小児医療機関への寄付など、重点的に力を入れている活動を紹介。また、マレーシアにあるロータリーク

ラブを訪問し、米山記念奨学金の支援を受けたマレーシアの学生が累計で1,000人を超えることをアピールし、今後学友会との協働を打診するなど、現地のロータリークラブとの連携を模索しているとのことでした。

### 3. 寄付金速報 — 例年並みの推移 —

前年同期比

+ 1.8%

普 - 1.1% 特 + 3.2%

2月末までの寄付金は前年同期と比べて1.8%増（普通寄付金:1.1%減、特別寄付金:3.2%増）、約2,040万円の増加となりました。

今月の寄付金は、直近5年間と同様の平均額で推移しています。皆さまからの変わらぬ厚いご支援に深く感謝いたします。来月以降は新規米山奨学生に関する行事も増加してまいりますので、引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。

### 4. 「人としての成長を実感」奨学期間を振り返る

卒業シーズンとなる3月、多くの米山奨学生が奨学期間を終了し、新たな一歩を踏み出すこととなります。今回は、ベトナム出身のグエンティ ハインさん（2022-24/横浜泉RC）に、米山奨学生として過ごした2年間を振り返っていただきました。

〈ハインさんより〉

米山奨学生に合格した時は、とにかく大喜びしました。待ちに待った合格通知を受け取った瞬間は、今でも覚えています。それまでの努力や挑戦が報われたことを実感すると同時に、その恩返しをしっかりと果たさなければならない、という責任も感じていました。初めてクラブの方々とお会った時は、ただ私を歓迎するだけでなく、将来のためにサポートしたい、という姿勢を強く感じ、心を打たれました。例会のたびにいただいた温かい言葉や応援のメッセージは、異国の地で過ごす私にとって、大きな励みになりました。

世話クラブでの2年間を通じて学んだ人間性、社会貢献に対する価値観や、真のリーダーシップは他者のために尽くすことにある、という考え方は、まだ学生の私にとって、学外での貴重な学びとなりました。多くのアドバイスやご指



ハインさんとカウンセラーの鈴木崇弘氏(右)

導を受け、自分が人として成長できている、という実感を得ることができました。

4月から新たに米山奨学生となる方々にぜひ実践してほしいことは、クラブ会員の皆さんのお名前とお仕事をいち早く覚えることです。そうすれば、いろんなテーマで会話が弾みます。実際に私も名簿をいただき、一生懸命覚えしました。母国について興味を持ってくださるので、母国に関する知識を深めておくことも大切です。

ここでの学びを生かし、今後は日本で、子どもたちの教育支援など、社会の課題解決に貢献することが私の目標です。ぜひ応援してください。お世話になった皆さま、本当にありがとうございました。

米山学友の顔

よねやま親善大使をお招きください

現在、第5代よねやま親善大使として選ばれた、個性豊かな米山学友3人が活動中です。活躍する米山学友の代表として、当事業のあらましや自身の活動、ロータリーと交流し、学んだ経験が人生においてどのように活かされているか等をお話します。地区大会や米山セミナー、奨学生のオリエンテーションや歓送会等でのスピーチに、ぜひお招きください。

詳細はこちら

